

外国語教育推進リーダー活用事業 授業研究会より

今年度、南会津域内では、外国語教育推進リーダーとして4名の先生方に小学校外国語科の指導をしていただいております。外国語教育推進リーダーの優れた実践の普及と小中学校の連携促進のため、域内で2回の研修会を開催しましたので紹介します。

【南会津中学校区 授業者：大内 綾子 先生】伊南小授業公開（第6学年）



単元名：Where is it from?

ねらい：自分たちが考えた「オリジナルおすすめ献立」を
ALTに伝えることができる。

指導観：①目的・場面・状況を明確にした言語活動の工夫
②既習表現を自ら活用する力の育成
③CAN-DOリストの活用



教科等横断的な学習
（食材の栄養バランス）



ピクチャーディクショナリーで
既習の表現を調べる児童

This is tomato.
It's from Minamiaizu.
Minamiaizu is in Fukushima.
Tomato is in the red group.

※ 目的・場面・状況を明確にした言語活動の工夫

ALT におすすめの献立を伝えるという単元のゴールが明確になっているため、児童は食材の産地や栄養素を意欲的に調べ、ALT に紹介することができていました。また、ALT もイギリスのおすすめの献立を紹介することにより、児童は日本との違いを比較しながら、関心をもって学習することができました。他教科との関連や比較文化についても参考となる実践でした。

～南会津中学校区外国語教育プランより（一部抜粋）～

- 重点目標：表現力の育成（バランスのよい4技能の習得）
- 小中連携の取組：目的・場面・状況を明確にしたコミュニケーション活動の実施
継続的なSmall Talkの実施 ALTの効果的な活用
情報や自分の考えを形成・再構築する場面の設定
ICTを活用した知識の定着 フォニックス指導（読む・書く活動）

～参加者の感想～

- おすすめ献立だけでなく、栄養素を伝えている点が教科等横断的な学びとなっていました。食材名や産地、栄養素グループ等、多くの情報を伝えている点は3年生からの指導の成果だと思いました。
- 情報や自分の考えを再構築するという考え方はとても大事だと思います。
- 動機付けが工夫されていて、子供たちが取り組みたくなる内容でした。
- 小3～中3までの到達目標が一覧表になっており、活用しやすくなっていました。
- 楽しみながらも大切な要素を盛り込んで自然に身に付く授業、教科等横断的な工夫等、他教科でも取り入れられそうな工夫がたくさんあり、勉強になりました。

【田島中学校区 授業者：馬場 瞳 先生】田島小授業公開（第6学年）



単元名：Save the animals.

ねらい：生き物を救うために、自分が考えた身近でできることを発表することができる。

指導観：①相手意識をもたせた発表

②環境問題への関心

③簡単な英語で自分の考えを表現

④単元CAN-DOリストの活用



タブレットを活用しペア活動で伝え合う児童

Let's save the sea turtles. Sea turtles live in the sea,
Plastic bag is a big problem. We can use eco-friendly bags.

※ 簡単な表現で自分の考えを表現

ペアを何度も交換することで、環境問題で伝えたい表現に慣れ親しみ、自信をもって自分の考えを発表することができました。聞き手は友達の考えをメモしながらリアクションすることができました。

児童一人一人の学習活動の時間を十分に確保することが重要であることが伝わる実践でした。

～田島中学校区小中連携プランより（一部抜粋）～

○ 重点目標：受容語彙、表現力の向上 ⇒ 活用する力の育成

○ 小中連携の取組：帯活動での単語指導

目的・場面・状況を明確にした言語活動の設定

フォニックス指導（読む・書く活動）

～参加者の感想～

- 相手に「伝えよう」と意識して発表していて素晴らしかったです。
- 子供たちが自信をもって自分の意見を言う姿が印象的でした。
- 発表と中間指導のタイミング、J T EとA L Tとの役割分担について学ぶことができました。
- 小中学校の共通実践事項が明確になっており、円滑な接続につながると感じました。
- 小中の学習を見通した体系的なCAN-DOリストの活用が勉強になりました。

今年度は二つの中学校区における推進リーダーの授業公開を通して、児童の学びの様子から指導方法を学んだり、先生方と小中連携について考えたりすることができました。小学校から中学校卒業段階までのゴールを明確にしたCAN-DOリストを子供たちと共有することにより、見通しをもって学習したり、できるようになったことを子供自身が自覚し、自信をもってコミュニケーションを図ったりする姿が見られました。

現在、南会津域内では、多くの小学校で推進リーダーの授業を参観することができます。今後も、推進リーダーの授業参観や情報交換を積極的に行ったり、各中学校区の小中連携プランやCAN-DOリストを教職員で共有したりしながら、児童の学びを中学校へつなぎ、外国語教育における小中連携の一層の充実をお願いします。

